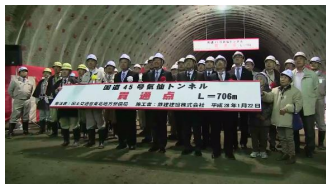


陸前高田発

「気仙トンネル」貫通

三陸沿岸道路・唐桑高田道路で初の「仮称・気仙トンネル」が貫通しました。長さ706メートルの気仙トンネルは陸前高田市竹駒町



と気仙沼市唐桑町を結ぶ唐桑高田道路の一部で、津波の浸水地を迂回し、移動時間も現在の国道45号のルートより5分短縮されます。唐桑高田道路は2018年度に開通予定です。(1/22 ニュースエコー)

盛岡発

復興フォーラム



岩手の復興の現状と課題、未来について考える「いわて三陸復興フォーラム」が盛岡で行われました。達増拓也知事は住宅の集団移転に伴う跡地活用など今後の課題を報告しました。また東北大学災害科学国際研究所の今村文彦所長は「過去の災害を知ることによって将来活かすべき防災を学ぶことができる」と強調していました。(1/23 ニュース)

宮古発

ふだいまるごと元気市

依然として公園などの遊び場が少ない被災地の親子に交流と遊びの場を提供しようというイベントが宮古市で行われました。ボランティアサークル「宮古レボリューション21」が企画したイベントには宮古市内の親子が参加し、積み木やおもちゃを使って楽しく遊びながら交流を深めました。宮古レボリューション21では「市民の手による子育て環境の向上」をめざし今後も息の長い活動をしていきたいとしています。(1/23 ニュースエコー)



盛岡発

内陸にも災害公営住宅

県は「内陸部」にも災害公営住宅を建設するためのアンケート調査をスタートしました。これまでは沿岸部からの人口の流出を懸念して消極的な姿勢を示していましたが、しかし要望の声は多く、建設を前提に必要な戸数や場所を検討するための調査を、内陸に避難している2300世帯を対象に実施します。今年3月末に調査結果を公表、結果をもとに必要な戸数や場所を検討することとしています。

(1/25 ニュースエコー)



釜石発

遅延損害金請求を検討



釜石市が東部地区に整備を進めている14棟の復興公営住宅のうち、5棟の引き渡しが2か月から5か月遅れると施工業者から報告があり、市は工程管理に明確な不備があるとして、協定に基づき、遅延損害金の請求を検討しています。来月と再来月に引き渡す予定だった建物もあり、市は入居予定者に説明することとしています。(1/25 ニュースエコー)

あり、市は工程管理に明確な不備があるとして、協定に基づき、遅延損害金の請求を検討しています。来月と再来月に引き渡す予定だった建物もあり、市は入居予定者に説明することとしています。(1/25 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はFMねまらいんの及川透子さんが、大船渡市盛町の盛保育園が毎年2月3日の節分に合わせて行う行事『鬼行列』について伝えてくれました。この行事は年長園児が盛商店街を「鬼は外！福は内！」と言いながら練り歩き、地域住民に『福豆』を手渡すものです。子供たちは可愛い鬼のお面をつけ、大きな声で商店街や仮設住宅周辺を練り歩くので、地域の皆さんはその可愛い姿をととても喜んでいました。「これからも、このような地域とのかかわりが深い行事が続いてほしい」と及川さんは話していました。(1/27)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122